

# 「こころのケア」シンポジウム ～複雑性 PTSD を考える～

令和4年12月14日(水) 13:30～17:00

兵庫県こころのケアセンター

- 13:30 開会あいさつ  
亀岡 智美 兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長
- 13:35 研究報告  
「複雑性PTSDに対する認知行動療法 (STAIR/Narrative Therapy) の効果—前後比較試験の結果を交えて—」  
須賀 楓介 兵庫県こころのケアセンター 主任研究員
- 14:20 基調講演  
「複雑性PTSDの理解と支援  
—日常臨床における我流・実践の紹介」  
原田 誠一 原田メンタルクリニック・東京認知行動療法研究所 院長
- 16:00 パネルディスカッション  
テーマ:複雑性PTSD  
  
(コーディネーター)  
・加藤 寛 兵庫県こころのケアセンター センター長  
  
(パネリスト)  
・原田 誠一 原田メンタルクリニック・東京認知行動療法研究所 院長  
・亀岡 智美 兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長  
・須賀 楓介 兵庫県こころのケアセンター 主任研究員
- 17:00 閉会あいさつ  
加藤 寛 兵庫県こころのケアセンター センター長

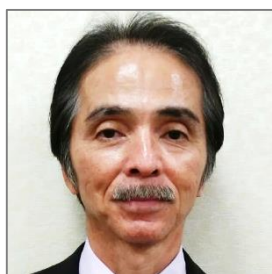
主催 / 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構  
共催 / 兵庫県  
後援 / 神戸新聞社

公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3-2  
URL <https://www.j-hits.org>

# 登壇者プロフィール



**原田 誠一 原田メンタルクリニック・東京認知行動療法研究所 院長**  
1957年・東京生まれ。東京大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院精神神経科、東京都立中部総合精神保健センター、東京都立墨東病院内科・救命救急センター、神経研究所附属晴和病院、東京逋信病院精神科・医長、三重大学医学部精神科・講師、国立精神・神経センター武蔵病院（現・国立精神・神経医療研究センター病院）外来部長を経て、2006年7月、東京・飯田橋に原田メンタルクリニック・東京認知行動療法研究所を開設、現在に至る。



**加藤 寛 兵庫県こころのケアセンター センター長**  
1958年生まれ。神戸大学医学部卒。医学博士。専門領域は災害精神保健、トラウマ臨床。1995年まで東京で精神科救急医療に従事、阪神・淡路大震災後に神戸に戻り、新しい公的機関「こころのケアセンター」に5年間勤務した。2004年4月からは現在の兵庫県こころのケアセンターに所属し、大災害後における心のケア活動に参加したほか、犯罪、暴力、虐待などの社会に潜むトラウマ被害者の臨床に携わっている。



**亀岡 智美 兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長**  
和歌山県立医科大学卒業。精神神経学会専門医、子どものこころ専門医。  
大阪府立病院を経て、大阪府立中宮病院松心園（現大阪府立精神医療センター）に勤務。2001年より大阪府こころの健康総合センターに勤務。2012年度より現職。子どものトラウマ関連障害へのトラウマ焦点化治療（TF-CBT）の実践と人材育成に携わっている。



**須賀 楓介 兵庫県こころのケアセンター 主任研究員**  
高知大学医学部卒。医学博士。専門領域はトラウマ領域の心理療法。高知大学医学部附属病院精神科で後期臨床研修を修了後、同院にて臨床・教育・研究活動に従事しながらトラウマ臨床を開始し、2020年4月から現職。トラウマ関連障害への臨床活動と、複雑性PTSDや複雑性悲嘆への多施設共同研究をはじめとする研究活動に従事している。米国CTSA認定持続エクスポージャー療法セラピスト・スーパーヴァイザー。

【司会】



**大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 上席研究主幹**  
大阪大学大学院人間科学研究科卒。人間科学博士。臨床心理士・公認心理師。  
2004年 当センター主任研究員、研究主幹を経て、2020年より現職。専門は二次受傷、惨事ストレス。国内外で事件・事故の被災者や地元支援者のケアに取り組む。総務省消防庁緊急時メンタルサポートチームメンバー。第5管区海上保安本部 メンタルヘルス対策アドバイザー。